

直近値が令和 3 年度のものについては、データが揃い次第、令和 4 年度に更新します。

評価結果

1 評価の概要・方法

平成 30 年（2018 年）に策定した「第 3 次芦屋市健康増進・食育推進計画」は、芦屋市健康増進・食育推進計画策定に関わるアンケート調査等を基に、平成 30 年度（2018 年度）から令和 5 年度（2023 年度）を計画期間とする健康づくり施策に対する目標（指標と目標値）が設定されています。

「健康増進計画」「食育推進計画」「母子保健計画」「自殺対策計画」のそれぞれの健康分野や取組の柱別に指標の達成状況等を整理し、取組を評価しました。

評価方法は、第 3 次計画の目標について、直近値（令和 4 年（2022 年）調査結果等）と策定当初値（平成 29 年（2017 年）調査結果等）を比較し、目標に対する達成状況について以下のとおりとしました。

評価	基準
A	目標を達成した
B 1	目標は達成していないが改善した（改善率 10%以上）
B 2	変化がない（改善率±10%未満）
C	悪化している
—	評価困難（制度変更等により、現状値を把握できず評価不可能なもの等）

直近値は、主に、令和 4 年（2022）11 月から 12 月実施の「第 4 次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査」に基づくものです。

[評価算定式]：策定当初値から目標値設定の上げ幅を勘案して、策定当初値から直近値に対する改善率を算定

$$\text{改善率} = \frac{\text{直近値（令和 4 年（2022）調査結果等）} - \text{策定当初値（平成 29 年（2017）調査結果等）}}{\text{目標値} - \text{策定当初値（平成 29 年（2017）調査}} \times 100$$

2 「母子保健計画」の評価

(1) 安心安全な妊娠・出産への保健対策の推進

これまで、母子健康手帳の交付・乳幼児健診の実施を行い、また親子同士が交流でき、子育てについて悩みを話し合える場を提供して、多くの親子の参加を促進するとともに、こどもの発達段階に応じた正しい情報提供と相談体制の整備を図ってきました。

評価結果をみると、妊娠中の喫煙率・飲酒率、乳幼児歯科健康診査の受診率は減少しています。

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R3 (2021))	目標値	評価
①全出生数中の低出生体重児の割合				
低出生体重児 (2,500g 未満)	7.8%	8.3%	減少	
うち極低出生体重児 (1,500g 未満)	0.3%	0.0%	減少	
②妊娠 11 週以下での妊娠届出者				
	96.8%	97.6%	100%	
③妊娠中の喫煙率				
	1.5%	0.6%	0%	
④妊娠中の飲酒率				
	2.6%	1.4%	0%	
⑤乳幼児歯科健康診査の受診率				
	33.2%	30.5%	40%以上	

(2) 健やかな成長を見守り育む保健対策の推進

本市の小児医療については、休日応急診療所と在宅当番医制による1次救急、病院群輪番制による2次救急、阪神地区救命救急センターによる重篤患者を対象とする3次救急まで、機能分担を図っています。特に、小児科では、芦屋市・西宮市・尼崎市の公立・私立の病院が小児救急病院群輪番制をとり、休日・夜間の2次救急医療を担っています。

評価結果をみると、事故対策を行っている家庭の割合、かかりつけの小児科を持つ親の割合、休日・夜間の小児救急医療機関を知っている人の割合、乳幼児健診受診率など増加しています。

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R3 (2021))	目標値	評価
①事故対策を行っている家庭の割合				
1歳6か月児	91.3%	94.2%	100%	
3歳児	84.5%	88.3%	100%	
②かかりつけの小児科を持つ親の割合				
1歳6か月児	96.7%	97.5%	100%	
3歳児	96.9%	97.0%	100%	
③休日・夜間の小児救急医療機関を知っている人の割合				
1歳6か月児	90.2%	93.9%	100%	
3歳児	94.2%	92.6%	100%	
④乳幼児健診の受診率				
	93.2%	96.5%	100%	
⑤3歳児健康診査の結果、虫歯のない幼児の割合				
	93.6%	95.1%	95%以上	
⑥育児について相談相手のいる母親の場合				
	97.4%	98.9%	100%	
⑦育児参加する父親の割合				
	94.4%	95.0%	100%	
⑧4か月児健康診査までの育児状況把握率				
	98.4%	95.7%	100%	
⑨定期予防接種の実施率				
麻疹風しん(1期)	101.8%	93.2%	100%	
麻疹風しん(2期)	94.2%	95.0%	100%	

3 「健康増進計画」の評価

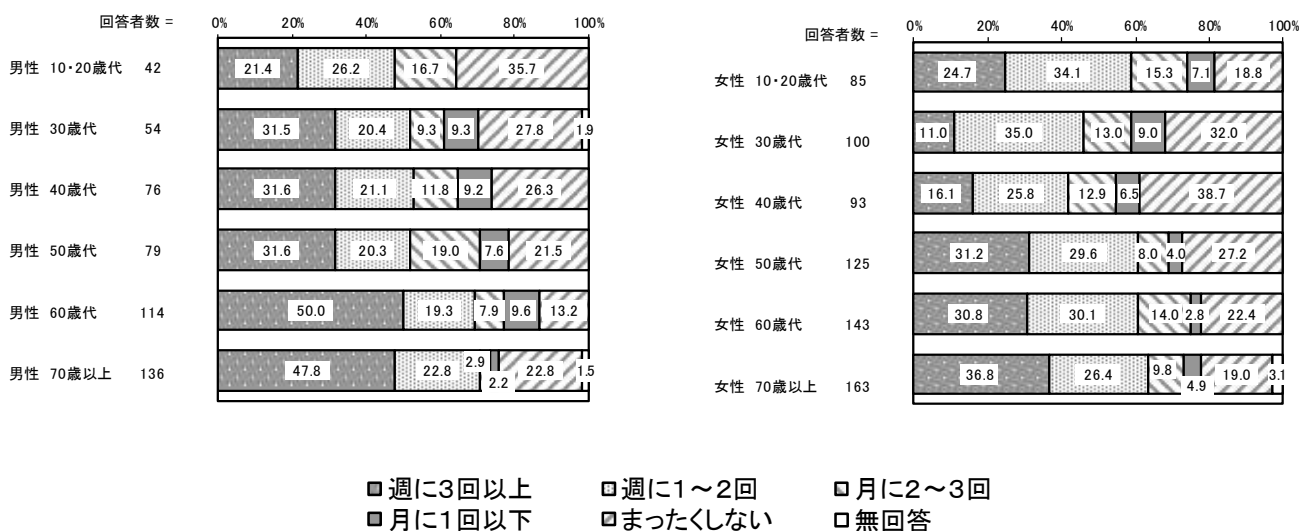
(1) 運動習慣の確立と実践

本市では、健康相談や健康教育等を通じて運動についての普及・啓発を行ってきました。体操等の運動メニューを紹介するとともに、運動に関する教室や運動施設の整備など運動の機会を充実してきました。

評価結果をみると、週3回以上の運動を行っている人の割合が男女ともに減少しています。

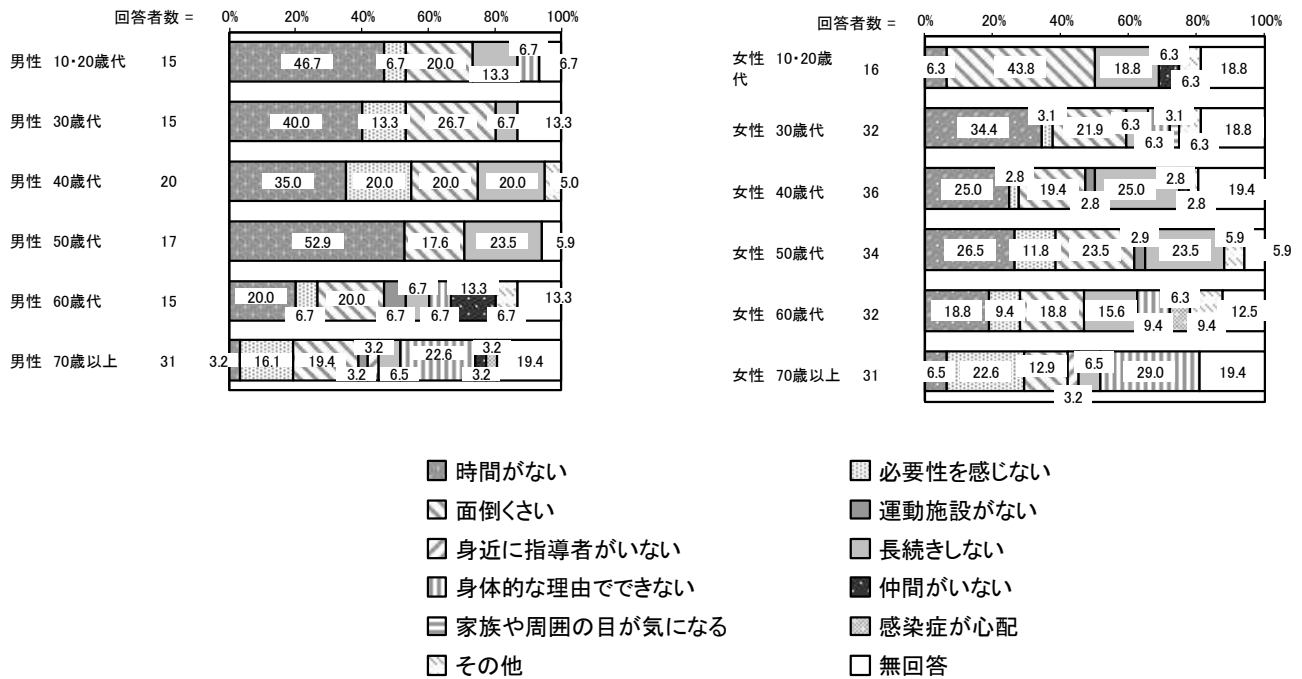
特に、コロナ禍において、運動量が「減った」の割合は約3割、外出頻度が「減った」の割合は約6割、友人・知人とのコミュニケーションが「減った」の割合が約5割となっています。

運動習慣について（性・年代別）



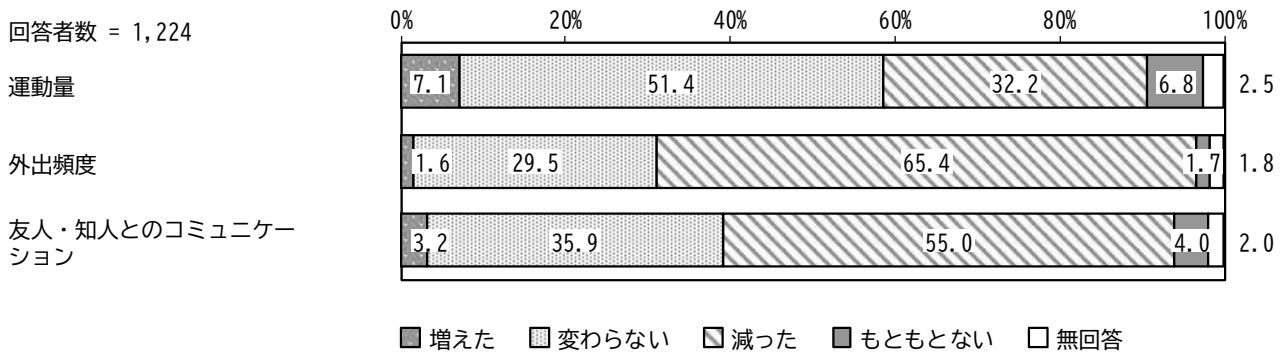
資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

運動しない理由について（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前後における生活の変化について



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①週3回以上の運動を行っている人の割合				
男性	36.1%	33.7%	50%以上	C
女性	25.3%	22.5%	50%以上	C
②何らかの地域活動をしている高齢者の割合				
65歳以上	20.3%	—	30%以上	—

※②については、今回調査において設問を削除したため「—」（評価不能）としています。

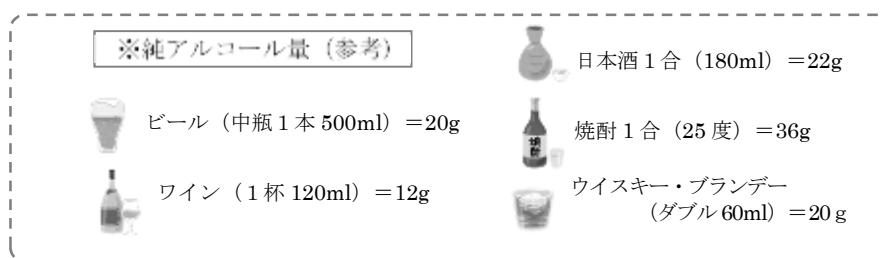
(2) 禁煙と適正飲酒の推進

本市では、喫煙や受動喫煙が及ぼす健康影響について、健診や健康相談時にパンフレットを配布するなど正しい知識の普及・啓発や、禁煙希望者に対し相談等の支援に取り組んできました。

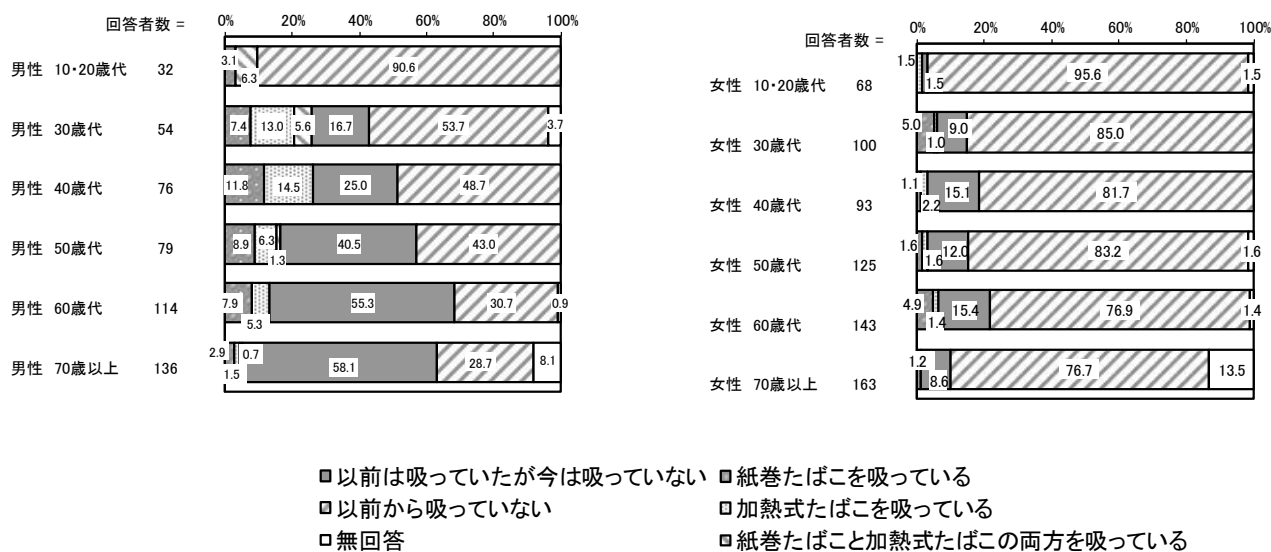
また、飲酒の害や依存症に関する正しい知識の普及・啓発などのアルコール対策に取り組んできました。

評価結果をみると、副流煙が及ぼす健康への影響を知っている人の割合は増加傾向にあり、たばこを吸っている人の割合は減少しています。

飲酒に関しては、生活習慣病リスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量※が男性 40g 以上、女性 20g 以上の者）の割合は増加しています。

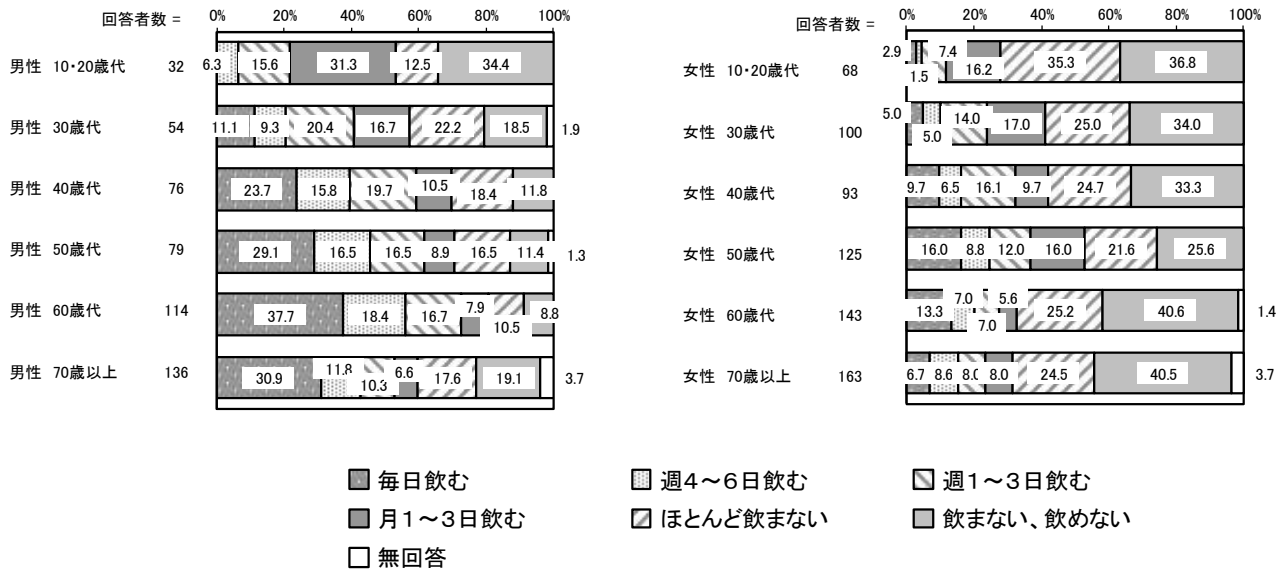


喫煙状況について（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

飲酒量について（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

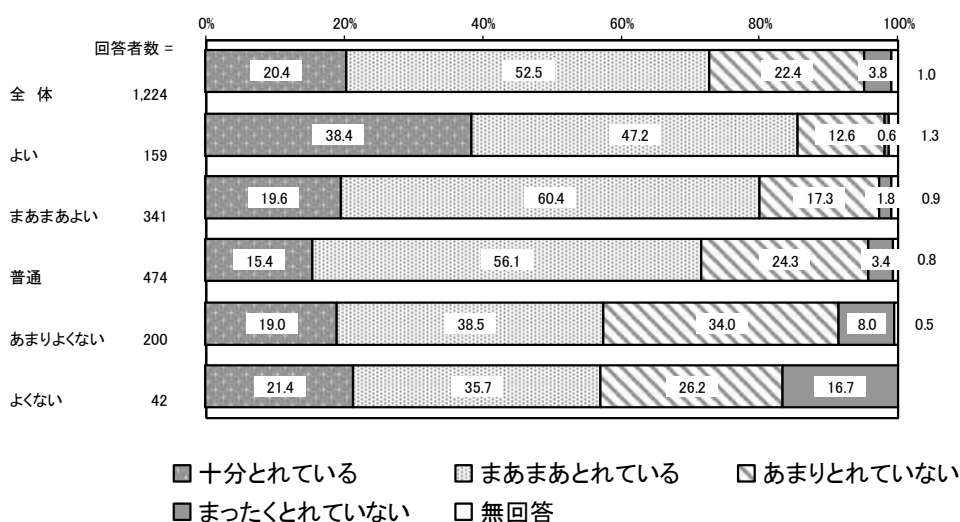
指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①たばこを吸っている人の割合				
男性	15.6%	14.6%	14%以下	B1
女性	4.1%	3.7%	3%以下	B1
②副流煙が及ぼす健康への影響を知っている人の割合				
	86.0%	88.9%	100%	B1
③生活習慣病リスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上の者）の割合				
男性	18.6%	20.6%	15.0%以下	C
女性	17.5%	20.2%	15.0%以下	C

(3) こころの健康

本市では、ストレス解消法や休養に関する知識の普及・啓発を図ってきたとともに、地域生活を支える相談及び支援の強化や、総合的な自殺予防対策を推進してきました。

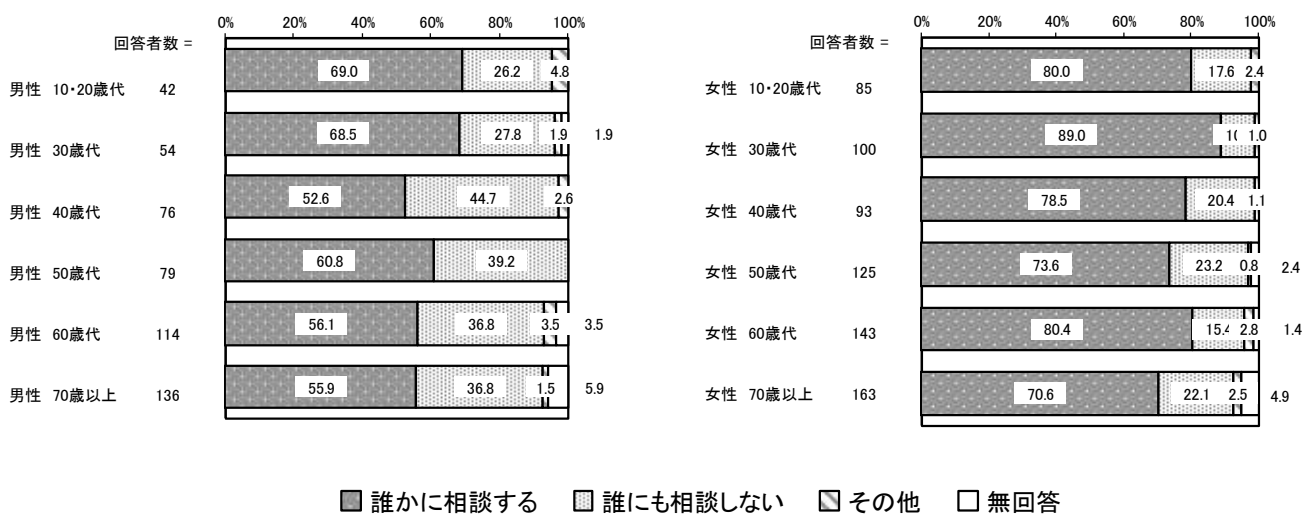
評価結果をみると、悩みの相談先を知らない人の割合、睡眠による休養を十分にとれていない人の割合は増加しており、ストレス解消法を持っている人の割合は減少しています。

睡眠状況（健康状態別）



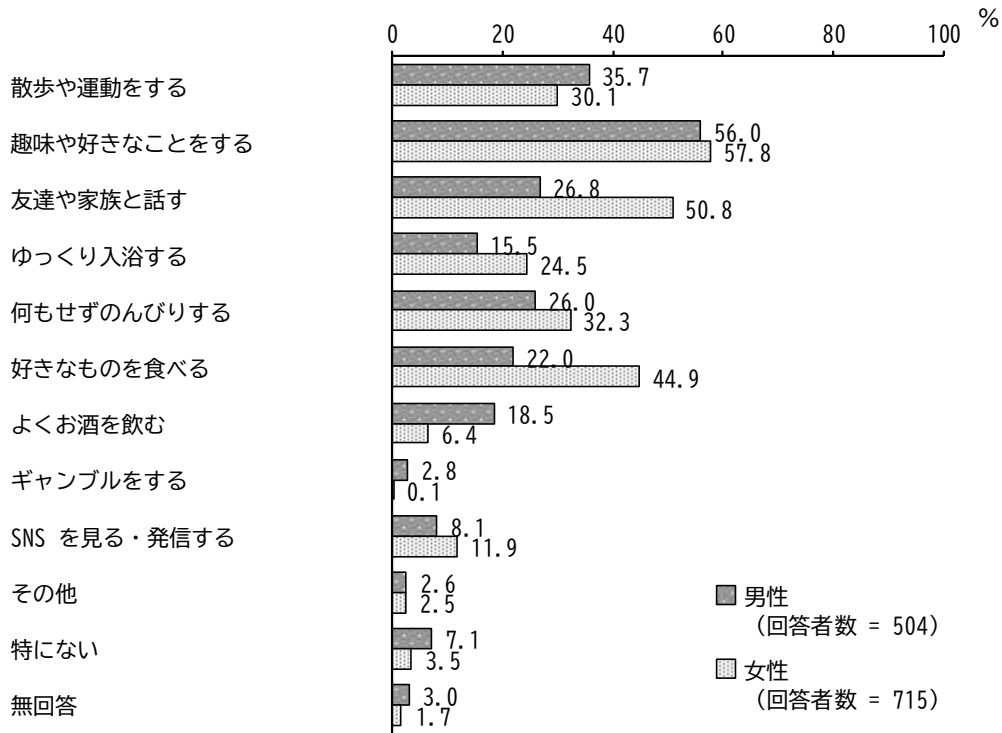
資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

相談状況（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

ストレスの解消法（性別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合				
	24.0%	26.2%	15%以下	C
②ストレスを感じたときの相談相手がいる人の割合				
	93.9%	—	100%	—
③ストレス解消法を持っている人の割合				
	93.7%	92.7%	100%	C
④悩みの相談先を知らない人の割合				
	41.5%	31.9%	35%以下	A
⑤芦屋市自殺者数				
	12人	11人 (R3)	減少	A

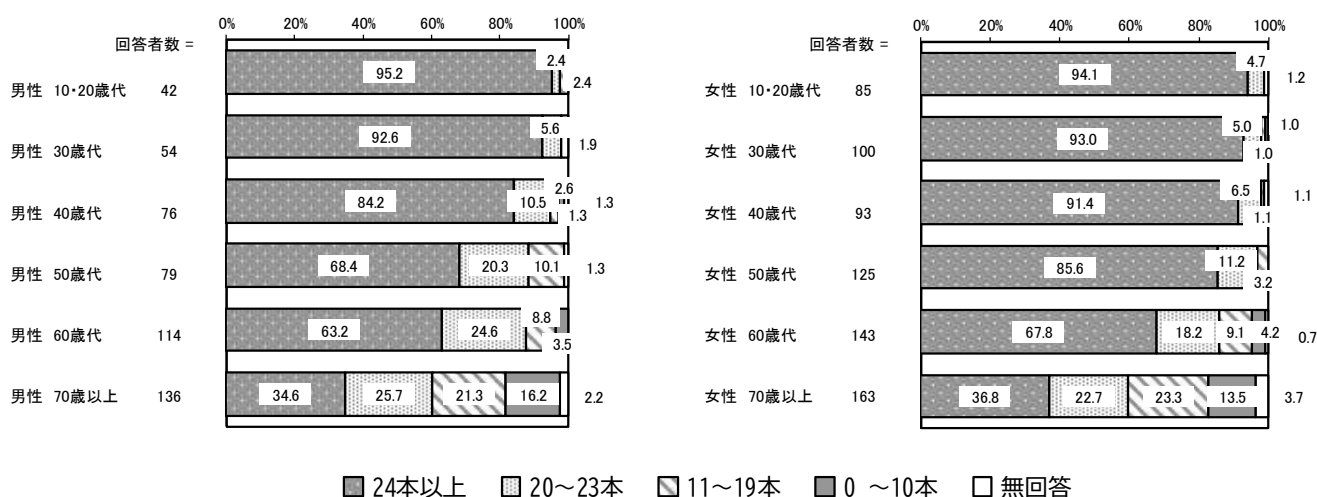
※②については、前回調査時から選択肢が変更されているので「—」（評価不能）としています。

(4) 歯及び口腔の健康づくり

本市では、むし歯予防や歯周疾患予防の普及・啓発、生涯にわたり自分の歯で食べられることをめざす「8020運動」の推進等により、ライフステージに応じた歯及び口腔の健康づくりを実施してきました。

評価結果をみると、60歳代で24本以上自分の歯を有する人の割合、定期的な歯科健診を受診する人の割合、40歳代で歯間部清掃用具を使用する人の割合が目標を達成しています。また、50歳代の歯間部清掃用具を使用する人の割合は目標値には達していませんが、増加しています。

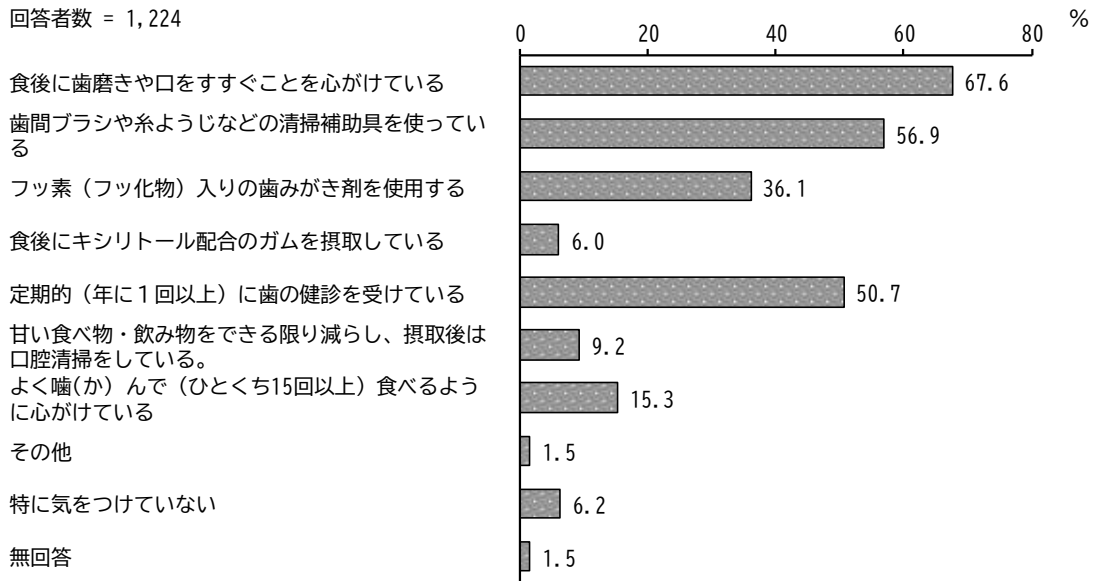
歯の保有本数について（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

歯と口の健康のため気をつけていること

回答者数 = 1,224



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①60歳代で24本以上自分の歯を有する人の割合				
	52.0%	65.8%	60%	A
②定期的な歯科健診を受診する人の割合				
	44.1%	50.7%	50%	A
③歯間部清掃用具を使用する人の割合				
40歳代	49.3%	62.9%	60%	A
50歳代	54.8%	62.0%	65%	B2
④3歳児健康診査の結果、虫歯のない児の割合				
	93.6%	95.1% (R3)	100%	
⑤喫煙が及ぼす健康への影響を知っている人（歯周病）の割合				
	24.9% (喫煙者40.2%)	29.1%	30%以上	B1

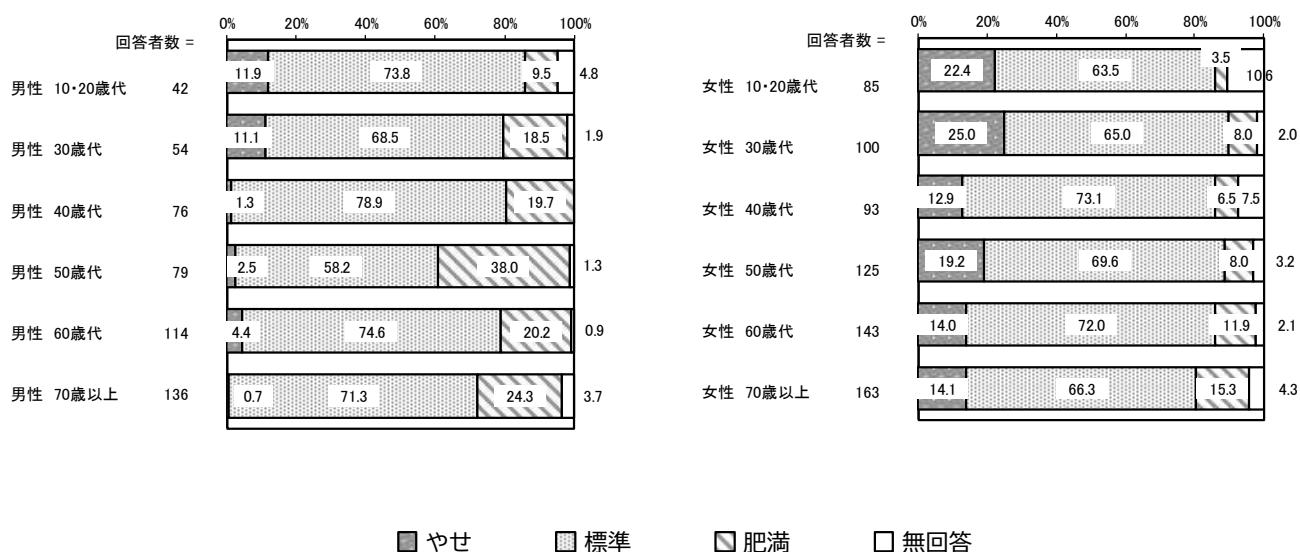
(5) 生活習慣病予防等の対策と健康寿命延伸の取り組み

本市では、メタボリックシンドロームに着目した健康診査やがん検診等を実施し、生活習慣病予防の保健指導や、健（検）診受診後の事後指導を強化してきました。

評価結果をみると、適正体重を達成・維持している人の割合、定期的に健康診査を受けている人の割合は増加しています。一方で、3割近くの方は、健（検）診受診後、生活習慣の見直し等に何も取り組んでいません。

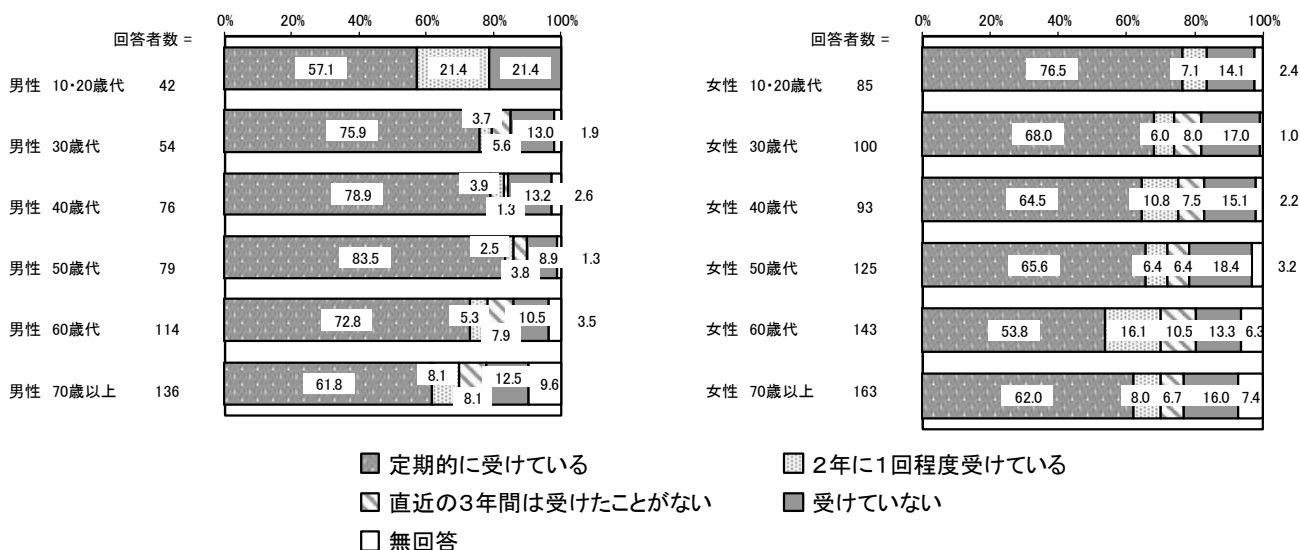
また、がん検診を受けている人の割合は全ての項目で減少しています。

BMI（性・年代別）



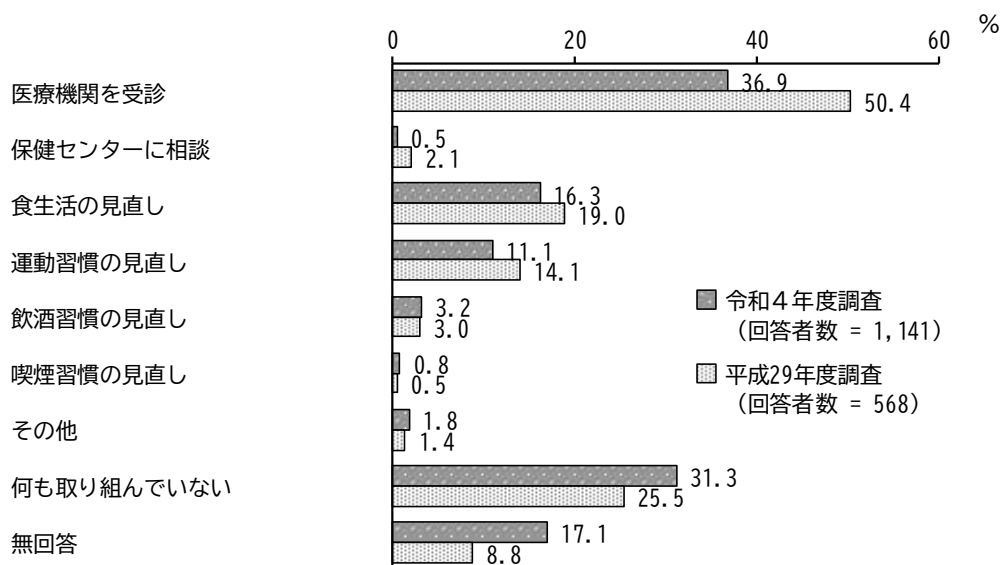
資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））
 ※BMIは年代ごとに以下の範囲を標準とし、標準より高い場合が肥満、低い場合をやせとしています。
 18～49歳：標準（18.5～24.9）、50～64歳：標準（20.0～24.9）
 65～74歳：標準（21.5～24.9）、75歳以上：標準（21.5～24.9）

健康診査等の受診率（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

健（検）診後の行動について



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①適正体重を達成・維持している人の割合				
成人	68.6%	69.4%	75%以上	B1
②定期的に健康診査を受けている人の割合				
成人男性	65.6%	71.4%	75%以上	B1
成人女性	53.2%	64.1%	75%以上	B1
③がん検診を受けている人の割合				
胃がん	30.3%	28.9%	50%以上	C
肺がん	31.9%	27.5%	50%以上	C
大腸がん	40.3%	34.8%	50%以上	C
子宮頸がん	45.7%	39.7%	50%以上	C
乳がん	43.8%	41.4%	50%以上	C
④健診受診後、生活習慣の改善等に取り組んでいない人の割合				
	25.5%	31.3%	20%以下	C
⑤健康寿命の延伸				
成人男性	81.40	調査中	平均寿命の増加 を上回る健康寿 命の増加	
成人女性	85.09	調査中		

4 「食育推進計画」の評価

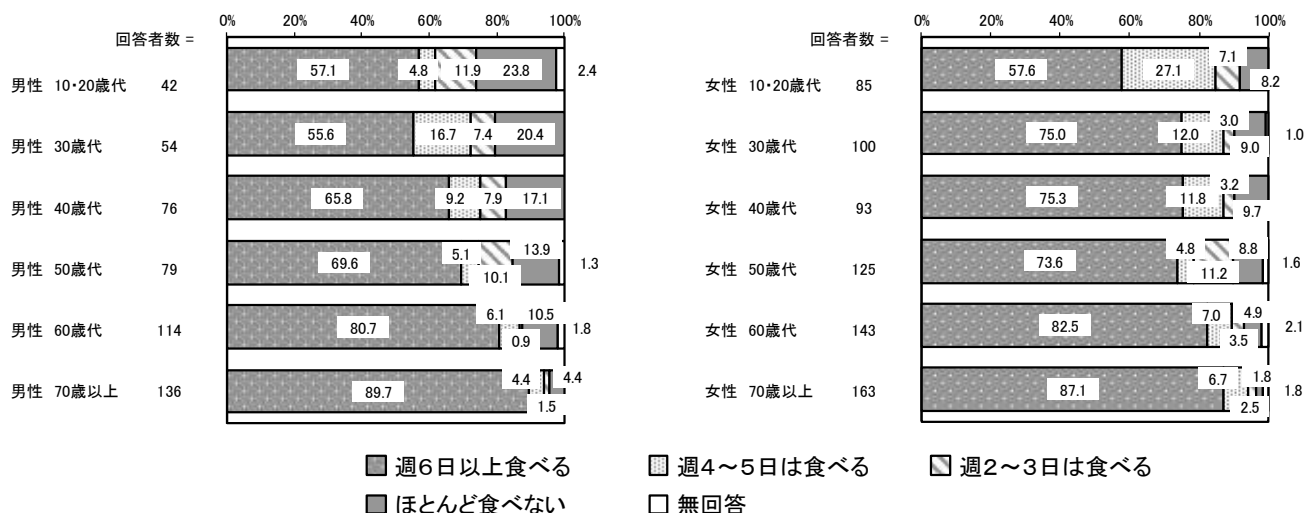
(1) 健康を維持する食習慣の確立と実践

本市では、ライフステージに合わせた健康を維持する食習慣や食に関する知識の普及・啓発、学習機会や情報の提供等を行ってきました。

評価結果をみると、成人における適正体重を達成・維持している人の割合が増加しています。一方、年代別にみると、高齢者の痩せの割合が高くなっています。

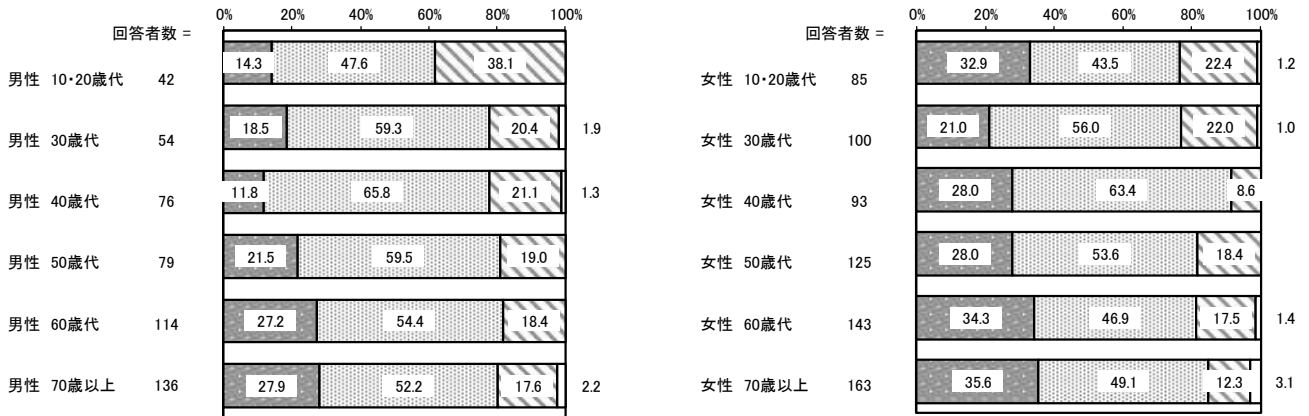
また、朝食を食べる人の割合（成人）、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合、野菜を1日に350g以上食べている人の割合が減少しています。

朝食の摂取率（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

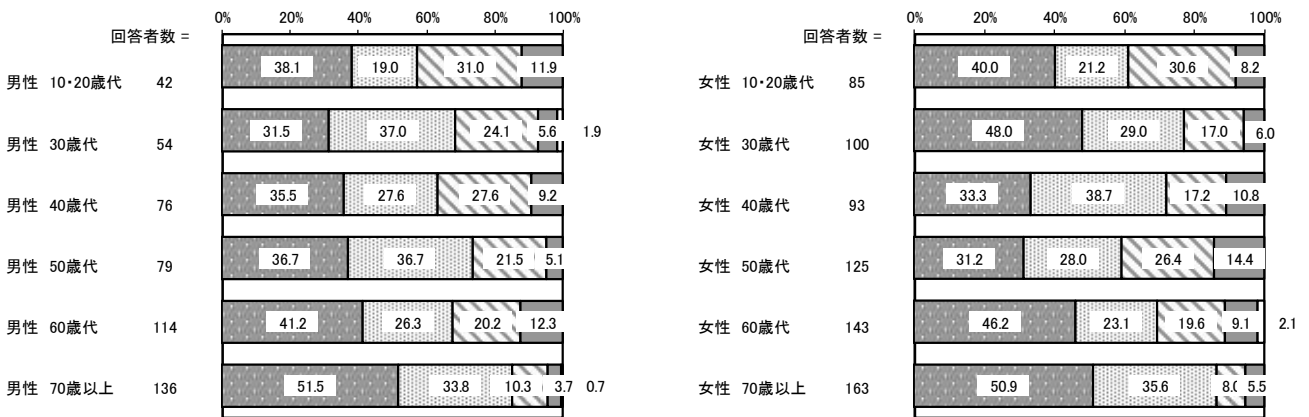
野菜を一日に 350g 以上食べているか（性・年代別）



■ ほぼ毎日食べている ■ 時々食べている ■ ほとんど食べていない □ 無回答

資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

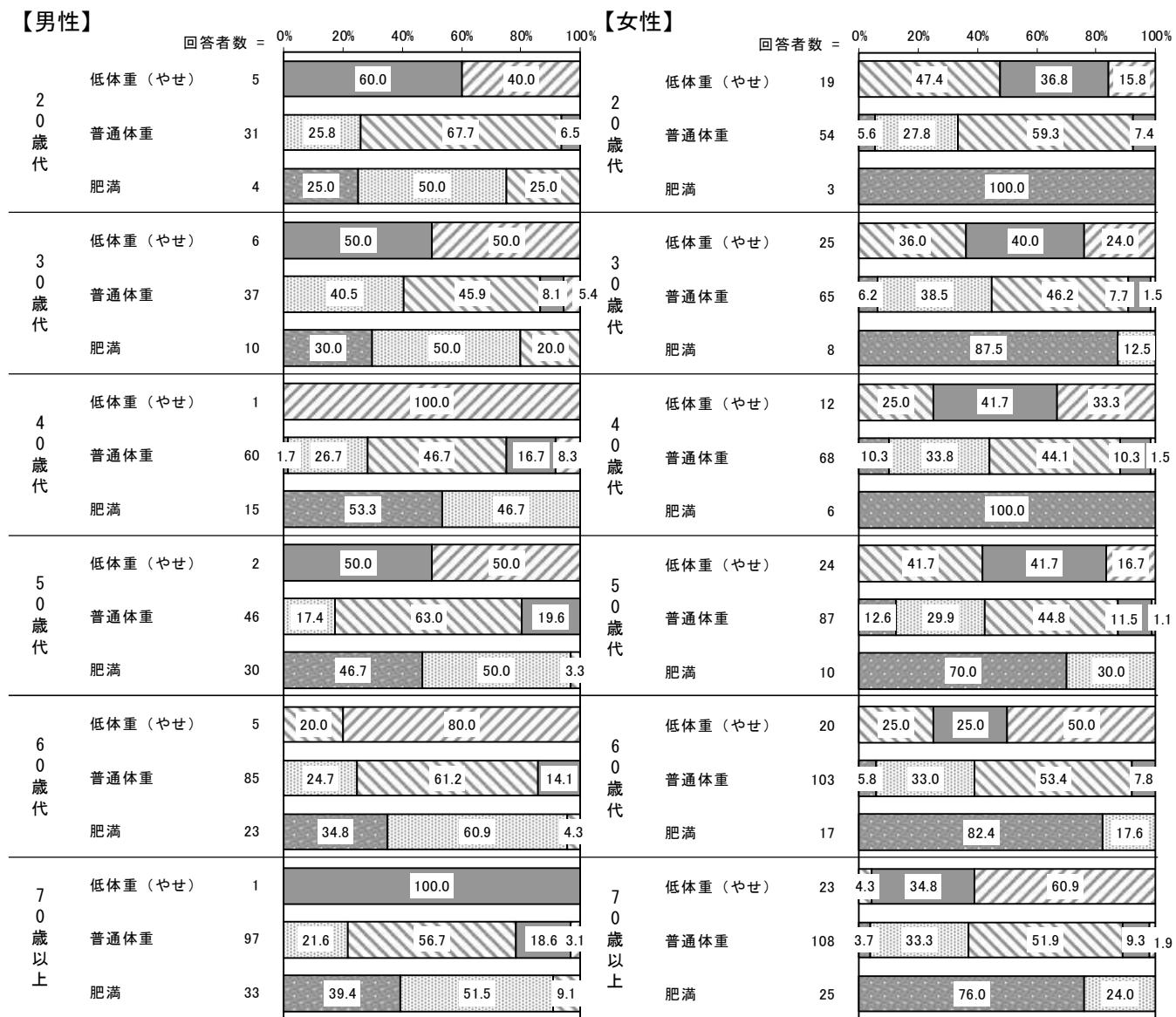
主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上食べる頻度（性・年代別）



■ 週6日以上 ■ 週4～5日 ■ 週2～3日 ■ 週1日以下 □ 無回答

資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

自分の体型に対する認識（BMI別）



■ 太っている ■ 少し太っている ■ 普通 ■ 少しやせている ■ やせている □ 無回答

資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①適正体重を達成・維持している人の割合				
児童	93.0%	調査中	100%	
成人	68.6%	69.4%	75%以上	B1
②朝食を食べる人の割合				
幼児	95.7%	調査中	100%	
成人	82.1%	75.9%	95%以上	C
③主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合				
	72.6%	71.9%	85%以上	C
④こどもに合った食事内容を知っている人の割合				
	86.6%	調査中	100%	
⑤野菜を1日に350g以上食べている人の割合				
	34.1%	27%	40%以上	C

(2) 食の安心安全への取り組み

本市では、食品の安全、食品の表示に関する知識の普及や、災害時の非常用食料等の備蓄の必要性の啓発を行ってきました。

評価結果をみると、災害に備え、非常用食料等を備蓄している人の割合に大きな変化はみられず、目標値には至りませんでした。

指標	策定当初値 (H29)	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①災害に備え、非常用食料等を備蓄している人の割合				
	44.6%	44.9%	55%以上	B2
②外食や食品購入する時に栄養成分表示を参考にしている人の割合				
	59.8%	61.2%	70%以上	B1

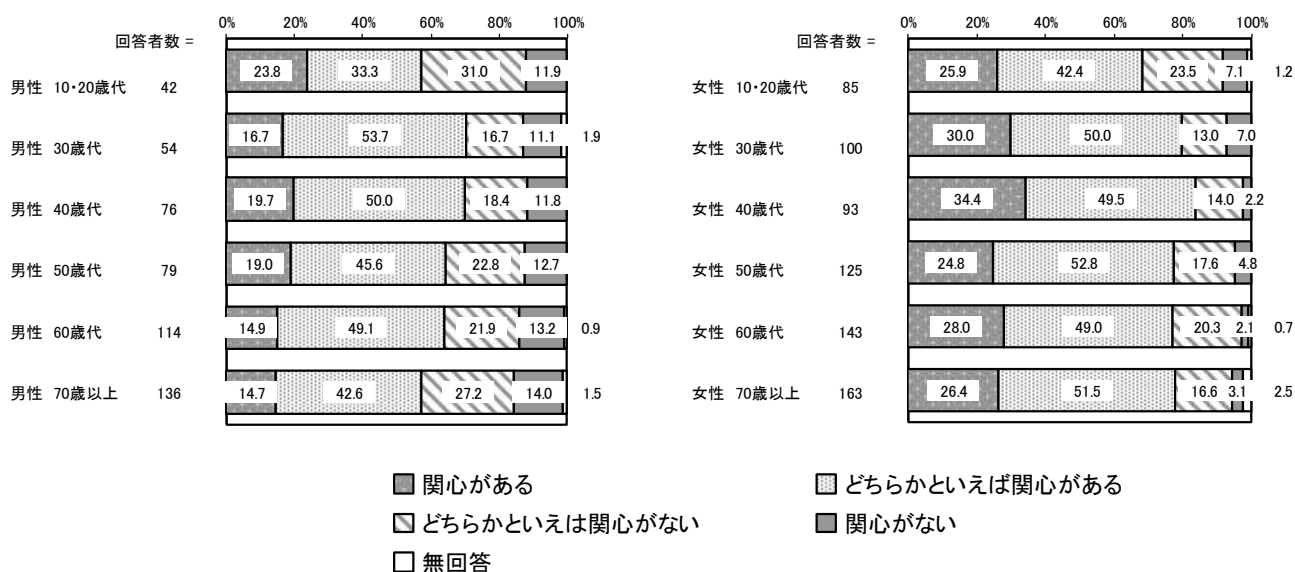
(3) 食育の推進と連携

本市では、食育月間における取組の促進、食に関する指導体制の確立、関係機関との連携を進めてきました。

評価結果をみると、食育に関心を持っている人の割合は増加しています。

また、食育に関心を持っている人は、健康づくりへの関心も高い傾向にあります。

食育に関心があるか（性・年代別）



資料：「第4次芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に係るアンケート調査結果報告書（令和4年度（2022））

指標	策定当初値 (H29 (2017))	直近値 (R4 (2022))	目標値	評価
①食育に関心を持っている人の割合	69.4%	71.7%	80%以上	B1
②郷土料理や伝統料理（行事食等）等、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食べ方等を受け継いでいる人の割合	44.6%	44.9%	55%以上	B2